

## 参考資料

## 1 施設区分

施設別と共通要素別の項目の具体的な施設を以下に示します。

| 項目    |              | 施設の事例                                                              |
|-------|--------------|--------------------------------------------------------------------|
| 施設別   | (1) 公共建築物    | 庁舎、福祉施設、教育施設（幼・小・中・高校含む）、生涯学習・文化施設、体育施設、保育園・児童館、治水施設、上水道施設、下水道施設 等 |
|       | (2) 道路       | 国道、都道、区道 等                                                         |
|       | 橋りょう         | 橋りょう、人道橋、跨道橋、架道橋、線路橋、横断歩道橋、水道橋、電気管橋、ガス跨線橋 等                        |
|       | (3) 公園・緑地・緑道 | 都立公園、区立公園、児童遊園、緑地、市民緑地、緑地広場、ポケットパーク、遊び場 等                          |
| 共通要素別 | (4) 河川       | 一級河川（荒川、新河岸川、石神井川、白子川）                                             |
|       | (5) フェンス類    | 門扉、防球ネット、フェンス、転落防止柵、ガードレール・パイプ、防護柵、メッシュフェンス 等                      |
|       | (6) ポール類     | 照明灯、信号機、車止め、カーブミラー、電柱、旗ポール、防球ネット柱、モニュメント等                          |
|       | (7) 擁壁       | 擁壁、袖壁、護岸 等                                                         |
|       | (8) 設備類      | 高架水槽、受水槽、変圧器、配電盤、分電盤、風車、消防設備、アンテナ、ソーラーパネル 等                        |
|       | (9) 舗装類      | アスファルト、コンクリート、土、福祉対応型舗装材、インターロッキングブロック、平板舗装 等                      |
|       | (10) 駐車場・駐輪場 | 舗装類、付帯工作物 等                                                        |
|       | (11) 仮囲い     | 障壁、横矢板 等                                                           |
|       | (12) 樹木類     | 地被類、低・中・高木類 等                                                      |
|       | (13) 公共サイン   | 案内板、説明板、掲示板、サインポール・ボード（自立型）、標識ポール等                                 |

## 2 公共施設の色彩選定にあたって

### ●いたばしの景観になじみやすい色彩例

#### ●いたばしの景観になじみやすい色彩例

##### 01 公共建築物の色彩

**景観色彩ガイドライン策定調査の結果から** 区内のほとんどの建築物が暖色系色相の低彩度色を基調としています

板橋区では平成24年3月に「板橋区景観色彩ガイドライン」を策定しています。ガイドラインでは土地利用別や景観形成重点地区別の推奨色を提示していますので、公共建築物の色彩はこれに則って計画するようにしてください。推奨色は、区内の建築物の現況調査結果を踏まえて策定しています。区内の建築物のほとんどが暖色系の低彩度色を基調としており、こうした色彩のまとまりが、落ちついた雰囲気や親しみやすさを創出しているのです。

公共施設の色彩は、こうした現況の特長をいかし、より良いものに整えていく役割を担っています。対象施設の周囲には必ず別の施設があることを念頭に、周辺景観への調和、地域の景観のさらなる充実を図りましょう。

**基調色選定のポイント** 基調色は暖色系色相の低彩度色を基本としましょう

区内には、様々な用途の公共建築物が立地しています。施設ごとに機能や利用者層が異なることから、色彩表現を適切に使い分けることも必要ですが、街並みの基調色が暖色系色相の低彩度色であることを念頭に色彩選定にあたりましょう。

下表に示す暖色系・低彩度色の範囲内でも公共建築物に求められる様々なイメージを表現することは十分可能です。

| 色相     | 明度  | 彩度    |
|--------|-----|-------|
| 5YR～5Y | 4～8 | 3以下程度 |



景観形成重点地区においては、明度の上限値が制限されている地区があります。

**配色のポイント** 複数色を用いる場合は、できるだけ色相でそろえ、明度・彩度を使い分けてメリハリをつくりましょう

建築物は多様な部位・部材の組み合わせで成り立っています。こうした、各部の色彩を上手にコーディネートすることにより、外観の印象をより良いものにすることができます。

各部の色彩を統一し、単色で仕上げる方法もひとつの考え方ですが、規模の大きい公共建築物では、複数色を使い分け適切に組み合わせることにより、スケール感を低減し、周囲になじむ外観とすることができます。下図の例は建築物の配色について、ポイントとなる基本的な考え方を示していますので参考にして下さい。

**複数色を用いる場合の配色のポイント**



- ①基調色は暖色系色相の低彩度色とします
- ②各部の色彩はできるだけ色相をそろえます
- ③周囲の街並みのスケールにあわせて色彩による分節を図ります
- ④上を明るく、下を暗くすると安定感のある落ちついた配色になります
- ⑤上層階と低層階の明度差を2～3程度に抑えると柔らかい配色になります
- ⑥低層階や玄関周りに自然素材を用いると質的な印象が高まります
- ⑦設備機器類は目立たない場所に配置するか、目隠しをします
- ⑧建築物の色だけでなく、柵などの外構部材の色もあわせて検討します
- ⑨舗装は建築物だけでなく周囲の街並みとの調和を加味して選定します
- ⑩彩り豊かな景観を創出するために生きた植物の力も借りましょう



# ●いたばしの景観になじみやすい色彩例

## 02 路面舗装の色彩

### 違和感の少ないアスファルトの色相

一般の道路舗装にはアスファルトの濃灰色（N3 程度）が用いられています。ごくありふれた色彩ですが、明度や彩度を抑えた色彩は嫌みがなく、人々の暮らしぶりや街並み、街路樹の緑などを引き立たせる道路の基調色にふさわしい色彩といえます。

### ブロックや平板を用いる際には舗装ばかりが強調されないように留意しましょう

一方、商店街などでは街路整備によって、着色されたブロックや平板などを用い、街の特性を演出すること考えられます。このような場合に重要な視点は、派手な色彩や奇抜なパターンで街の印象を造り替えるのではなく、それぞれの街がもっている魅力を継承し、高めていくことです。

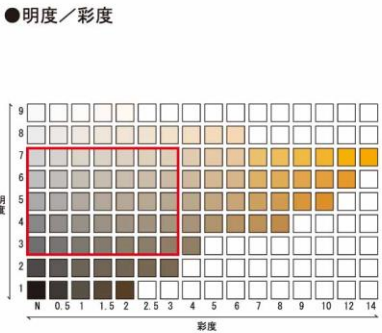
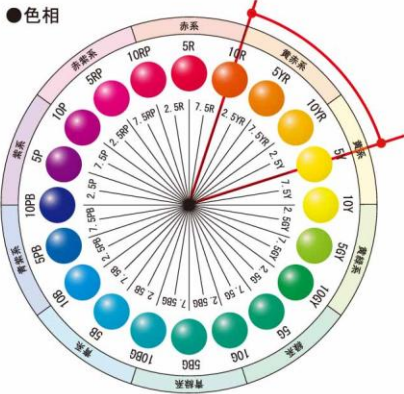
板橋区は住宅地を基調に暖かく親しみやすい雰囲気の商品街、身近な町工場の雰囲気を残す複合市街地などで構成されています。このような街の魅力を高める舗装色の例として次の範囲の色彩が挙げられます。

また、複数色を組み合わせる場合は、舗装パターンが強調されたり、極端な色の違いがまだら模様に見えないように、各色の明度差を0.5～3以内程度に抑えるなどの工夫も大切です。

表面に筋状の表情を加えたブロックや平板なども普及しています。こうした材料では縦横を交互に配置することで、光と影がつくる印象的なパターンを形成することも可能です。

### 景観になじみやすい舗装色の範囲例ましよう

| 色相     | 明度    | 彩度    |
|--------|-------|-------|
| 10R～5Y | 3～7程度 | 3以下程度 |

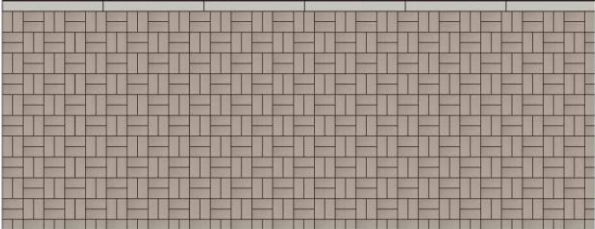


フェンスやポール等と色相をそろえて調和を図った舗装の例

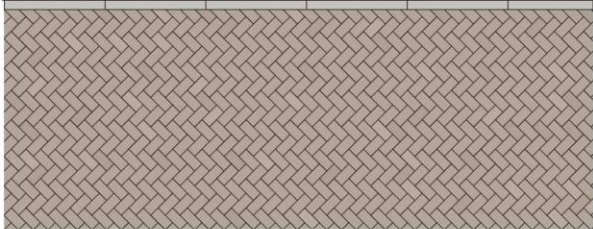


| 部位       | 色彩（マンセル値）                |
|----------|--------------------------|
| 舗装       | 10YR5.0/1.0              |
| フェンス・ポール | ダークブラウン<br>(10YR2.0/1.0) |
| 設備       | グレーベージュ<br>(10YR6.0/1.0) |

面状のある舗装材を市松に貼りわけ、見る角度により異色に見えるパターン



しゃれた印象を創出しやすいあじろ貼りのパターン



# ●いたばしの景観になじみやすい色彩例

## 03 橋りょうの色彩

### まちを印象づける橋りょうの色彩

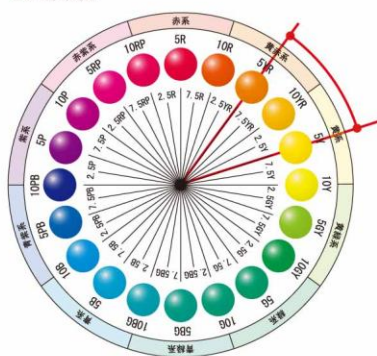
橋りょうは、道路との交差部などの目につきやすい場所に整備され、それ自体が道路や河川を眺める視点場になるなど、街の景観形成にあたって重要な色彩要素です。

### 小規模な橋りょうの色彩 水辺の自然を引き立てる落ち着いた色彩を基本に考えましょう

| 属性  | 配慮点                                                                                                                                                             |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 色相  | 小規模な桁橋などは、暖色系色相の低彩度色を基本にすると、水辺の自然に対して優しい表情となります。緑や青、赤などの色相を選定する場合は、花や草木の色彩を阻害することのないように十分に明度や彩度を抑えます。                                                           |
| 明度  | 桁の明度は、低めに抑えた方が薄く引き締まって見え、遠くから見た際にも必要以上に目立たなくなります。<br>高欄の明度は、桁よりも明るく又は同程度とすると安定感があり違和感の少ない配色となります。一方、高欄を明るくしすぎると川沿いの緑や街並みよりも高欄の方が目立ち、橋上から見た際には水面や沿岸の緑が眺めにくくなります。 |
| 彩度  | 植物の緑よりも彩度を抑えることにより、水辺の自然がより鮮やかに、潤いを増して感じられるようになります。暖色系色相では彩度4程度まで、寒色系・その他の色相では彩度2程度までを上限とします。                                                                   |
| その他 | できるだけ、石材やコンクリート、金属などの素材色を生かします。過剰な装飾、絵模様などは避け、住宅地の背景として季節感や暮らしの賑わいを引き立てるデザインを基本とします。                                                                            |

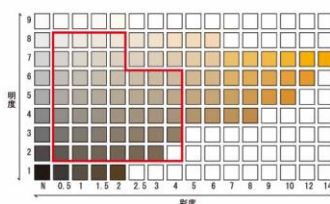
### 暖色系色相(5YR～5Y)を基調とする場合の目安 自然の土や石、建築物の外壁色等と共通する暖かく落ち着いた色相

●色相範囲



●明度／彩度範囲

| 明度      | 彩度      |
|---------|---------|
| 8.0～7.0 | 2.0以下程度 |
| 7.0～2.0 | 4.0以下程度 |

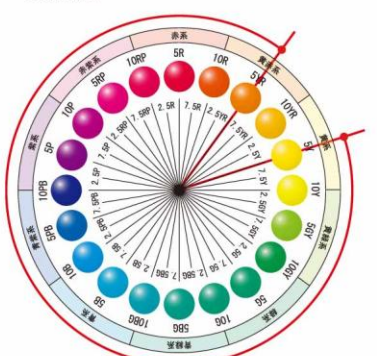


●イメージ



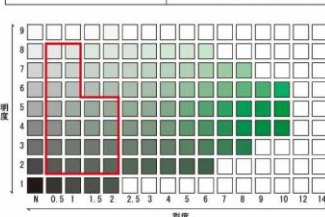
### 上記以外の色相を基調とする場合の目安

●色相範囲

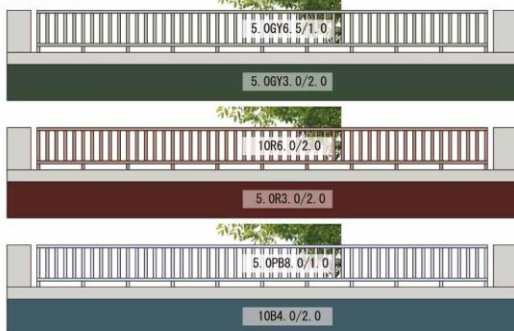


●明度／彩度範囲

| 明度      | 彩度      |
|---------|---------|
| 8.0～6.0 | 1.0以下程度 |
| 6.0～2.0 | 2.0以下程度 |



●イメージ





## ●いたばしの景観になじみやすい色彩例

### 04 フェンス・ポール・設備等の色彩

#### 落ち着いた色彩で統一しましょう

フェンス類やポール類、電気設備などの盤類は、道路や川沿いなどに連続して用いられる要素です。こうした要素の色彩はできるだけ統一し、空間の一体性を高めることが大切です。

また、それぞれの要素は個々にイメージを強調したり、必要以上に目立たせる必要がないものであることから、景観に溶け込むような落ち着いた色彩を基本とすることが大切です。

#### 扱いやすい標準色を基本に考えましょう



国土交通省では「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」の中で、景観に調和しやすい3色の標準色を挙げています。これらは全国に普及しており、防護柵だけでなくポールや設備機器類の基本色としても応用されているため、標準品の選択肢も多く、景観に配慮した道路や河川の整備で扱いやすい色彩となっています。路線や流域ごとに独自の色彩を検討することも考えられますが、まずは取り扱いやすい標準色を基本に考えてみましょう。

#### ダークブラウン：10YR2/1

緑の豊かな場所、歴史的景観資源の周辺など、自然や歴史への配慮が求められる地域に特に適しています。

また、住宅地をはじめ一般の市街地でも、存在感を強く主張することがなく、落ち着いた印象を感じさせる使いやすい色彩です。

フェンス・ポール・設備をダークブラウンで統一した例



#### グレーベージュ：10YR6/1

ダークブラウンよりも明るいことから、開放的な水辺、新しい都市空間などに特に適しています。一般の市街地では、ダークブラウンやダークグレーよりも柔らかい印象を与える色彩です。分電盤など面的に大きい設備の場合、ダークブラウンでは重々しく感じられる場合があるため、より軽快感のあるグレーベージュを組み合わせることも考えられます。

フェンス・ポール・設備をグレーベージュで統一した例



#### ダークグレー：10YR3/0.2

ダークブラウンと似た表情をもちますが、より色味が少ないため、現代的な印象を与える色彩です。

スケールの大きい高幅員の道路や都市的な広場などで使いやすい色彩です。一方、伝統的建築物に用いられる、いぶし瓦や焼板などとも類似する色彩であることから、和風の街並みにも活用することができます。

フェンス・ポール・設備をダークグレーで統一した例







# “ひと、もの、まち”がバランスよく調和した景観をめざして

フェンス類



ポール類



擁壁



設備類



舗装類



駐車場・駐輪場



仮囲い



樹木類



公共サイン



色彩



## 板橋区公共施設整備景観ガイドライン | Landscape Design Guidelines for Public Facilities in Itabashi City

発行年月 平成25年3月

発行 板橋区 都市整備部 都市計画課  
〒173-0004 東京都板橋区板橋二丁目66番1号  
tel. 03-3964-1111 (代表)  
ホームページ <http://www.city.itabashi.tokyo.jp/>



本ガイドラインに関するお問い合わせは、都市計画課 都市景観担当 までご連絡ください。  
tel. 03-3579-2549 (直通) fax. 03-3579-5436 email: [t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp](mailto:t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp)